

11 消耗部品の交換方法

日々の作業を安定して能率的に使うために、作業前・作業後のメンテナンス・早い時期の消耗品の交換をお勧めいたします。

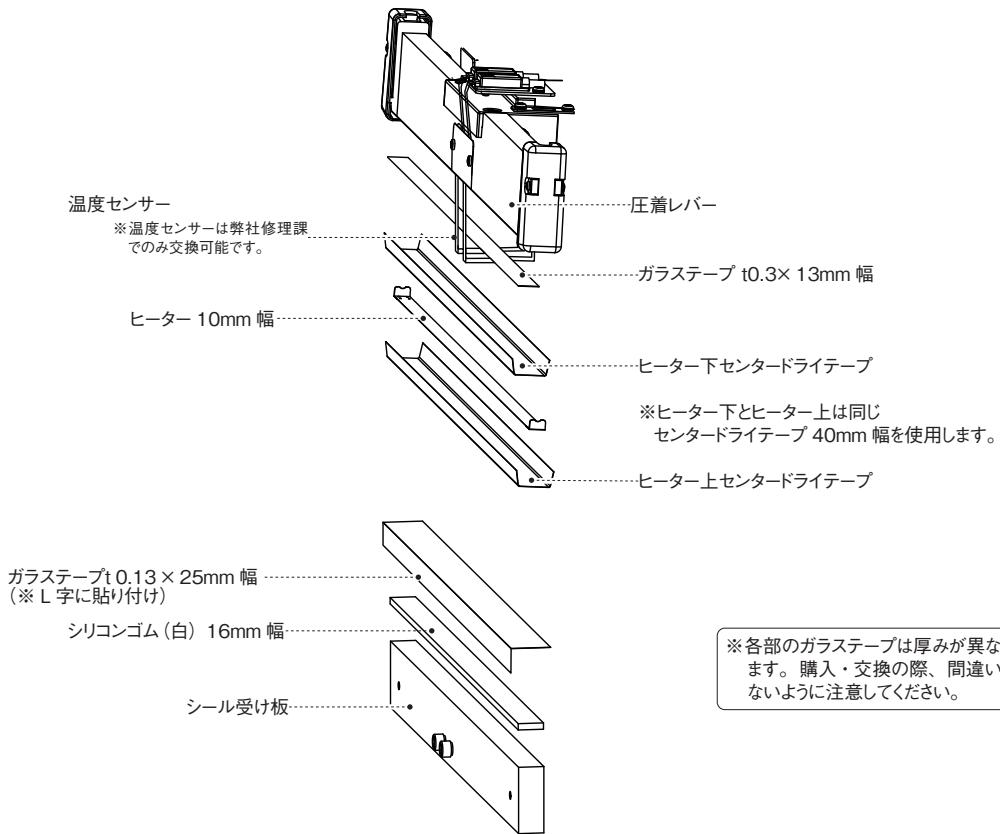
以下の内容をよくお読みいただき、正しく作業を行ってください。

- ⚠️ 警告** 消耗部品の交換やメンテナンスを行う時は、必ず電源プラグを手で持ってコンセントから抜き、作業を行ってください。プラグを差し込んだまま作業を行うと感電する危険性があります。
- ⚠️ 警告** 取扱説明書に記載されている以外の間違った方法で交換すると機械が正常に動かないばかりか、感電や火傷をする危険性があります。
- ⚠️ 警告** 消耗部品は必ず弊社指定の部品をご使用ください。指定外の部品を使用されると製品の性能が正しく発揮できないだけでなく、故障の原因にもなります。



シール部の構造

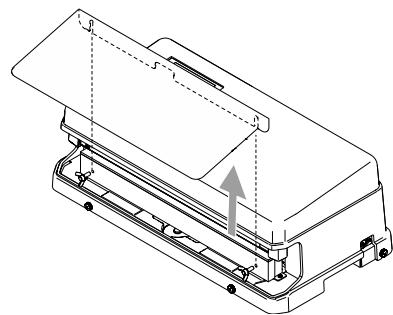
シール部は下のイラストの部品から構成されていますので、部品交換の時は順番を間違えないように取り付けてください。



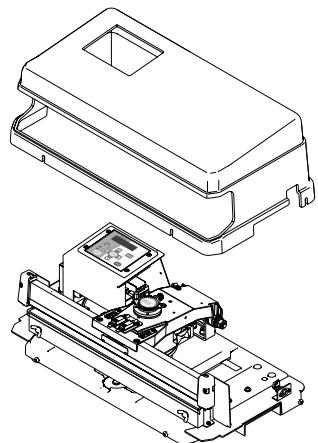
11-1 部品交換のための準備

各部品の交換は、以下の方法で本体カバーを取り、圧着レバーを持ち上げると作業が行いやすくなります。

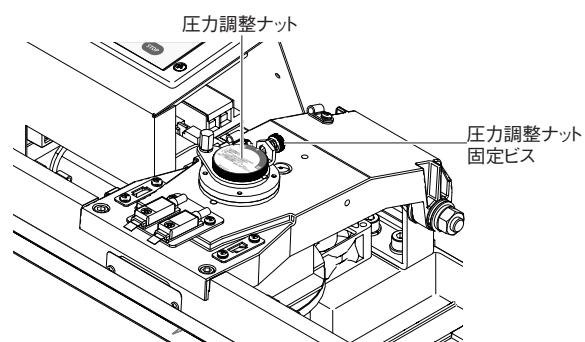
- 1 テーブルを取り外します。



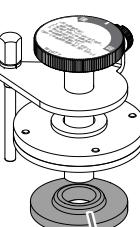
- 2 本体カバーは、シーラー本体の左右2ヶ所、前側2ヶ所に付いている計4ヶ所のビスを緩め、カバーを持ち上げて外してください。



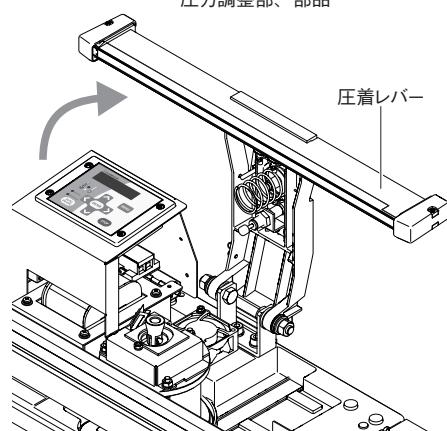
- 3 次に、圧着レバー中央の圧力調整ナット固定ビスを左に回して緩め、圧力調整ナットを左に回して圧力調整部の部品を取り外します。



- 4 その後、圧着レバーを持ち上げ、奥側に倒してください。



- 5 圧力調整ナットを取り付ける時は、「11-11 部品交換が終了したら」(→ P.45) を参照してください。



11-2 ヒーター上センタードライテープの交換

【必 要 物】 はさみ、プラスドライバー

【交換の目安】 センタードライテープが破れた、焦げた、シールが汚い等

センタードライテープは製品に附属しています。附属のセンタードライテープがなくなった場合は「MDi-350/450 部品表」(→ P.57) の①を購入してください。

1 プラスドライバーで電極カバー止めビス(右イラスト参照)を取り外し、電極カバーを外してください。

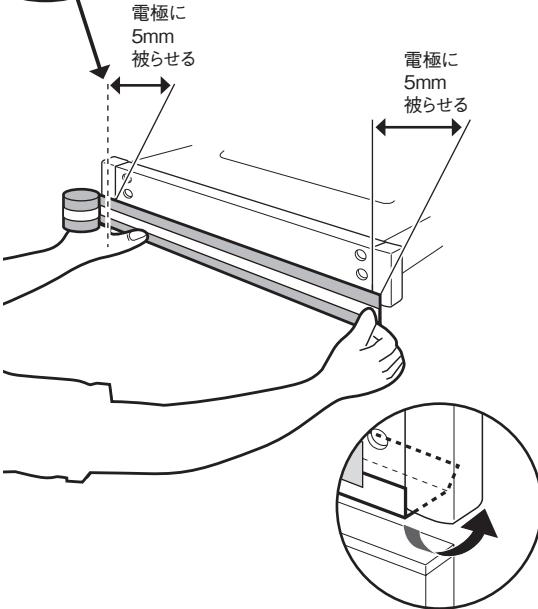
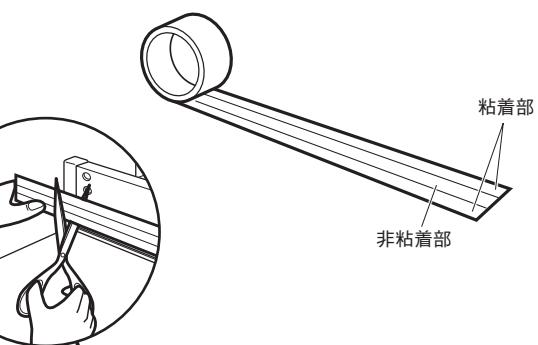
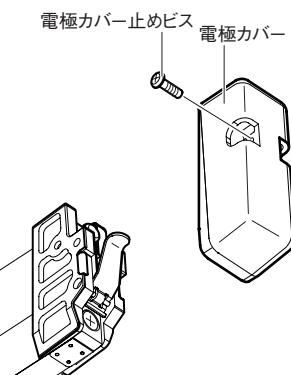
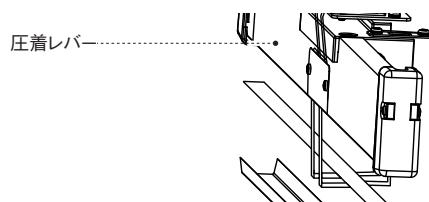
2 製品に貼り付けてあるヒーター上センタードライテープを剥がし取ってください。

3 新しいセンタードライテープが 5mm ずつ電極に被さるように圧着レバーの前面に貼り付け、はみ出した部分をはさみで切り取ってください。
(MDi-350 → 370mm にカット)
(MDi-450 → 470mm にカット)

4 センタードライテープは、非粘着部と粘着部とに分かれています。非粘着部がヒーター面に来るよう粘着部でセンタードライテープを圧着板に固定してください。

5 センタードライテープを圧着レバーに沿って奥側へ折り曲げ、圧着レバーの背面にセンタードライテープを貼り付けてください。

△ 注意 電極カバー止めビスはきつく締め込まないでください。ネジ山がなくなりネジが固定できなくなります。



11-3 ヒーターの交換

【必要物】 プラスドライバー

【交換の目安】 ヒーターが切れた、凸凹が発生した、シールが汚い等

ヒーターは製品に附属しています。附属のヒーターがなくなった場合は「MDi-350/450 部品表」(→ P.57)の②を購入してください。

- 1 「11-2 ヒーター上センタードライテープの交換」(→ P.38)を参照し電極カバー、ヒーター上センタードライテープを取り外してください。

MEMO ヒーター交換の際ヒーターアセンブリを確認し、焦げ、破れなどがあった場合は「11-4 ヒーターアセンブリの交換」(→ P.40)を参照しヒーターアセンブリを交換してください。

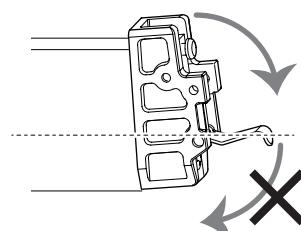
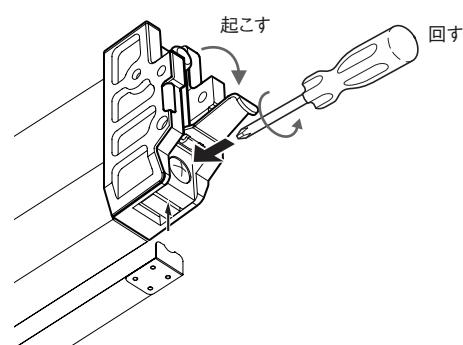
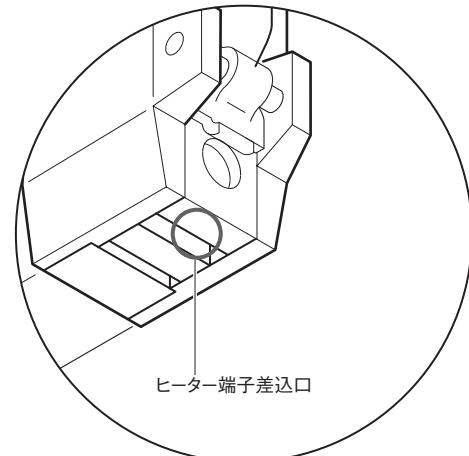
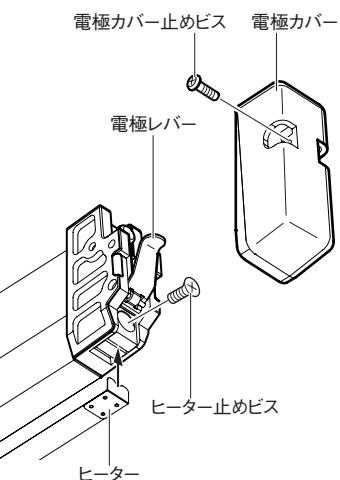
- 2 電極レバーを下方向、水平位置まで倒しヒーター止めビスをプラスドライバーで緩めてください。
- 3 ヒーター止めビスを緩めると傷んだヒーターを取り外すことができます。
- 4 電極レバーを下方向に倒したまま新しいヒーターをヒーター端子差込口(電極板と電極板バネの間)に挿入し、ヒーターが電極から浮かないよう押えながらヒーター止めビスをしっかりと締めた後、電極レバーを上方向に戻してください。

△ 注意 安全のため、ヒーター交換後は必ず電極カバーを取り付けてください。

交換用ヒーターは必ず弊社指定の専用ヒーターをご使用ください。専用ヒーター以外のヒーターを使用されると、トランジストが壊れる原因となります。

△ 注意 電極カバー止めビスはきつく締め込まないでください。ネジ山がなくなりネジが固定できなくなります。

△ 注意 ヒーター端子を電極の差込位置を間違えると、シール時、電極部分でショートするので、十分気をつけて取り付けを行ってください。電極レバーは水平位置より下側におこさないでください。電極が破損します。



11-4 ヒータ下センタードライテープの交換

【必 要 物】 はさみ

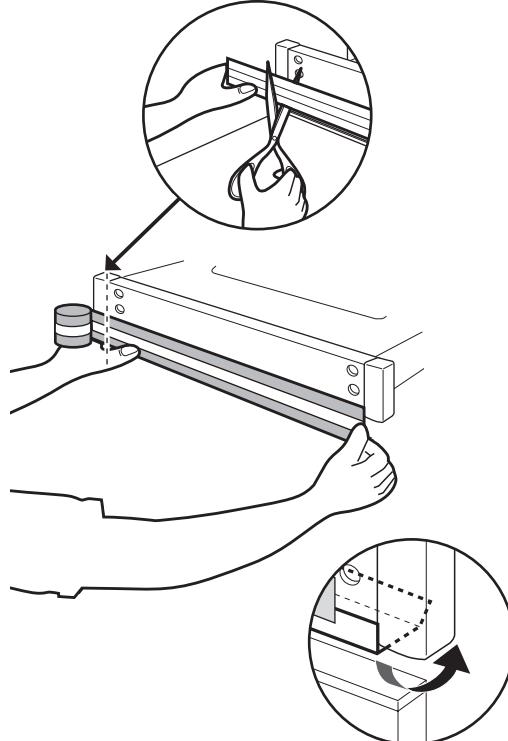
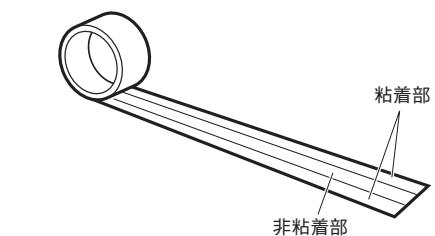
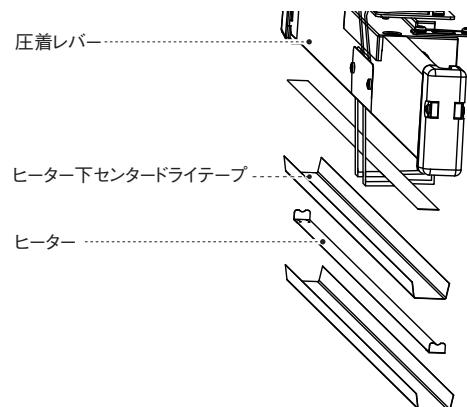
【交換の目安】 センタードライテープが破れた、焦げた、シールが汚い等

センタードライテープは製品に附属しています。附属のセンタードライテープがなくなった場合は「MDi-350/450 部品表」(→ P.57) の①を購入してください。

- 1 「11-2 ヒーター上センタードライテープの交換」(→ P.38)、「11-3 ヒーターの交換」(→ P.39) を参照し電極カバー、ヒーター上ヒーター、センタードライテープを取り外してください。
- 2 製品に貼り付けてあるヒータ下センタードライテープを剥がし取ってください。
- 3 新しいセンタードライテープをシール面長と同じ長さで圧着レバーの前面に貼り付け、はみ出した部分をはさみで切り取ってください。
(MDi-350 → 360mm にカット)
(MDi-450 → 460mm にカット)
- 4 センタードライテープは、非粘着部と粘着部とに分かれています。非粘着部がヒーター面に来るよう粘着部でセンタードライテープを圧着板に固定してください。
- 5 センタードライテープを圧着レバーに沿って奥側へ折り曲げ、圧着レバーの背面にセンタードライテープを貼り付けてください。



注意 温度センサー感温部は極めて繊細なため、触らないでください。

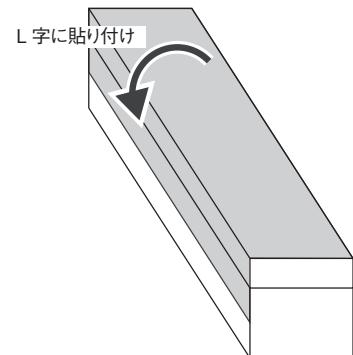
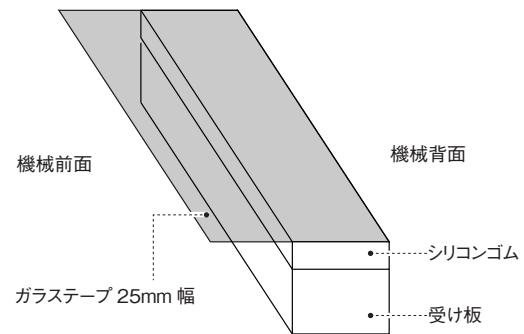


11-5 受け板側ガラステープの交換

【必 要 物】 はさみ

【交換の目安】 ヒーターがよく切れる、シールが汚い等
ガラステープは製品に附属しています。附属のガラステー
プがなくなった場合は「MDi-350/450 部品表」
(→ P.57) の③を購入してください。

- 1 製品に貼り付けてある受け板側のガラステープ
を剥がし取ってください。
- 2 シリコンゴム上に残った粘着のりを綺麗に拭き
取ってください。
- 3 **△ 注意** 粘着のりが残っている上にテープを貼りますと、
シール面に悪影響をおこします。ガラステープ
にヒーターのへこみがみられる場合は交換してく
ださい。
- 4 ガラステープをシリコンゴム長と同じ長さでL字
になるようにシリコンゴムの上に貼り付けてくださ
い。(右イラスト参照)
(MDi-350 → 360mm にカット)
(MDi-450 → 460mm にカット)
- 5 圧着レバーからはみ出した部分をはさみで切り
取ってください。

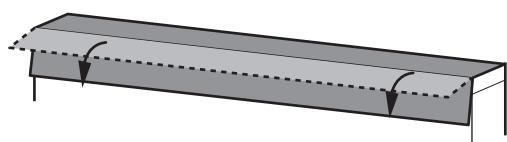
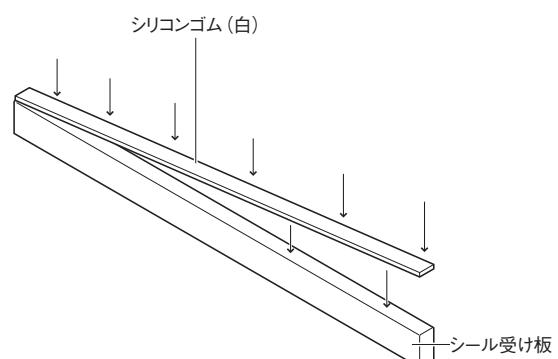


11-6 シリコンゴム(白)の交換

【必 要 物】 アルコール(エタノール)

【交換の目安】 シールが汚い等
シリコンゴム(白)は単品販売しています。

- 1 傷んだ(古くなった)シリコンゴムを取り外してください。
- 2 圧着レバーの金属部に残った粘着のりをアル
コール(エタノール)できれいに拭きとってくださ
い。
- 3 **△ 注意** 粘着のりが残っている上にシリコンゴムを貼りま
すと、シール面に悪影響をおこします。
- 4 新しいシリコンゴム(白)を端から順に貼ってくだ
さい。
- 5 ガラステープの交換方法を参照しシリコンゴムの
上にガラステープ 25mm 幅を貼ってください。
シール受け板からはみ出る分は、シール受け板
の側面へ折り曲げて貼り付けてください。



MEMO シリコンゴム(白)は貼り直しができま
せんので丁寧に貼ってください。

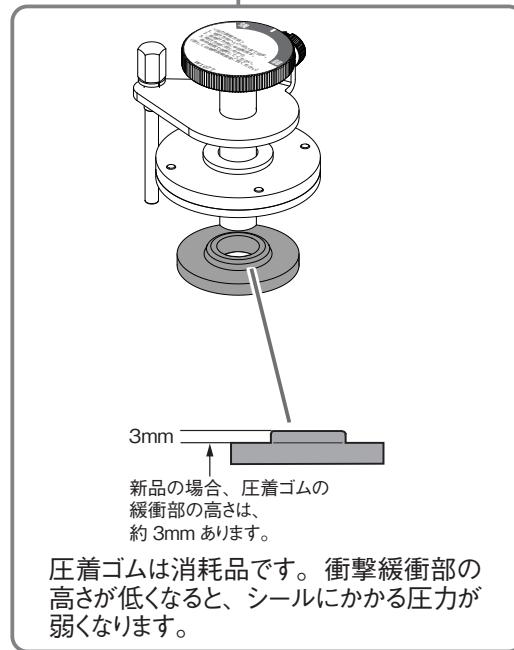
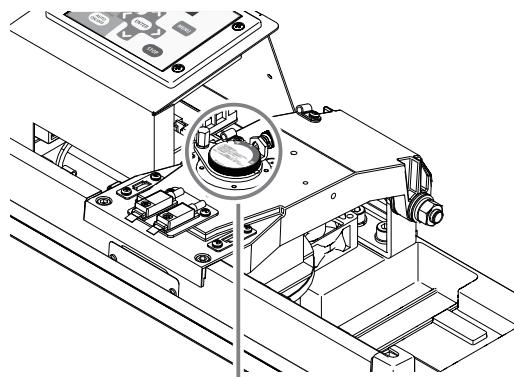
11-7 圧着ゴムの確認

【必 要 物】 プラスドライバー

【交換の目安】 圧着ゴムの衝撃緩衝部の高さが2mm以下になった場合(新品の場合は3mm)またはシール圧力が低下した場合、定期的に圧着ゴムの衝撃緩衝部の減りを点検してください。1年ごとの交換を推奨します。



圧着ゴムは新品の場合、衝撃緩衝部の高さが3mmあります。長期間の使用で圧着ゴムがすり減り、衝撃緩衝部が2mm以下になるとシーラーの加圧力が増大して、誤って指などを挟んだ場合、過大な加圧力が加わる恐れがあります。機械の使用前などに圧着ゴムのチェックを行い、衝撃緩衝部が2mm以下になった場合は必ず圧着ゴムの交換を行ってください。



11-8 ショックキラーの交換

【必 要 物】 プラスドライバー

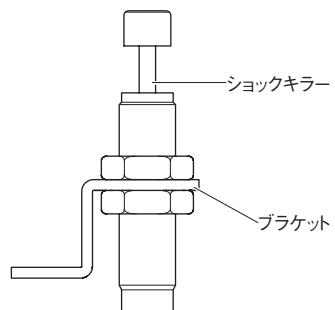
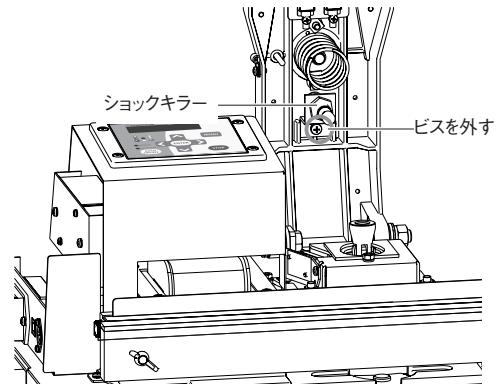
【交換の目安】

シール時の閉じる時の音が急に大きくなった
・圧着レバーの下がるスピードが急に早くなつた
上記の症状が表れ、ショックキラーの頭部分を軽く押して抵抗がなかった場合

- 1 「11-1 部品交換のための準備」(→ P.37)を参照して、圧着レバーを持ち上げ、奥側に倒してください。
- 2 右イラストを参照して、ビスを外してください。
- 3 ショックキラーをブラケットごと取り外してください。
- 4 新しいショックキラーをブラケットごと圧着レバーに取り付けてください。
- 5 「11-11 部品交換が終了したら」(→ P.45)を参照して、圧着レバーを元に戻してください。



ビスは緩みが出ないようにしっかりと締めて取り付けてください。
ビスが緩んでいるとショックキラーが故障する原因となります。



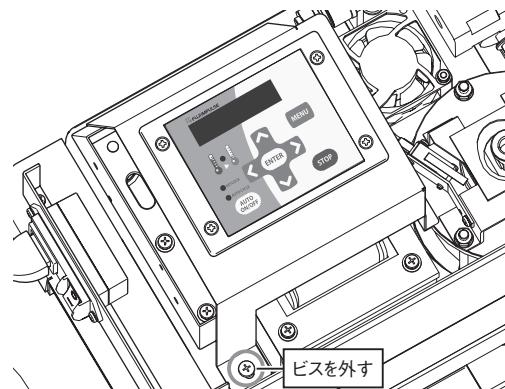
11-9 マイクロスイッチの交換

【必要物】プラスドライバー

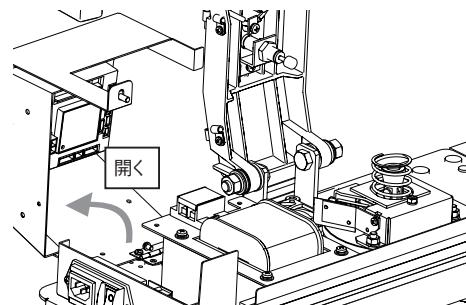
マイクロスイッチは単品販売しています。

△ 警告 マイクロスイッチの交換は必ず電源コードをコンセントから抜いた状態で行ってください。

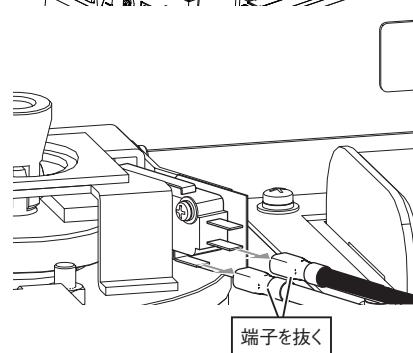
1 右イラストを参照して、ビスを外してください。



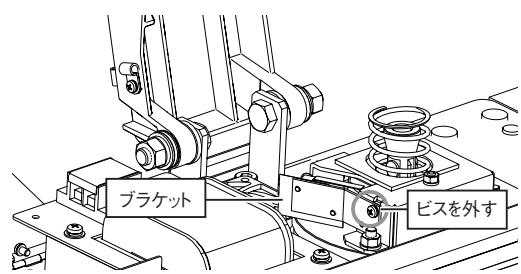
2 左側の操作部を開いてください。



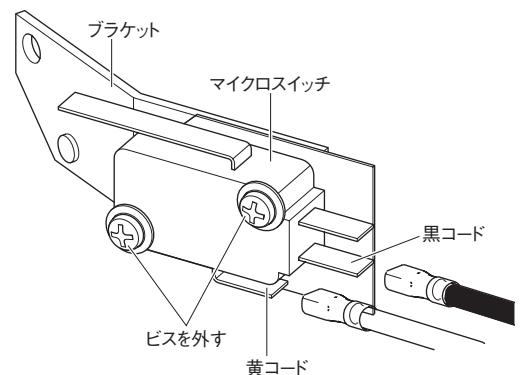
3 マイクロスイッチの端子を抜きます。



4 右イラストを参照して、ビスを外し、ブラケットを取り外してください。



5 ビス 2 本を外して、ブラケットからマイクロスイッチを取り外してください。



6 新しいマイクロスイッチをブラケットに取り付けてください。

7 ブラケットを取り付けてください。

8 右イラストを参照し、マイクロスイッチに黄コードの端子、黒コードの端子を接続してください。

9 左側の操作部を閉じ、ビスで固定してください。

11-10 バックアップ用電池の交換

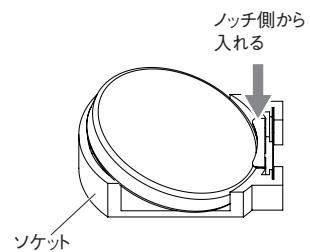
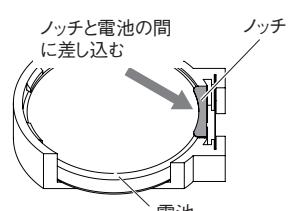
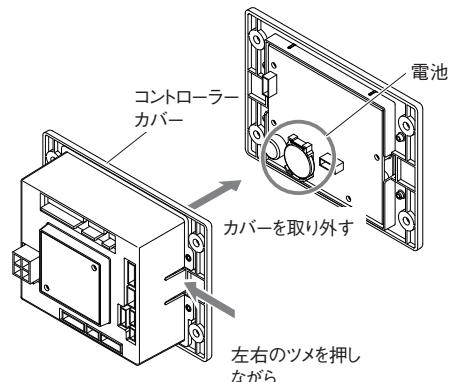
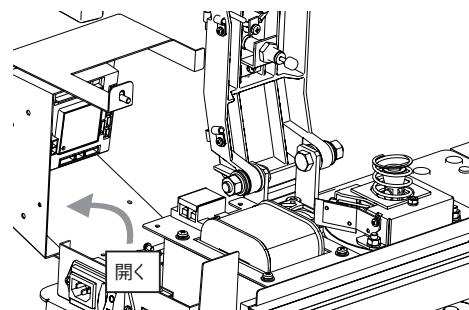
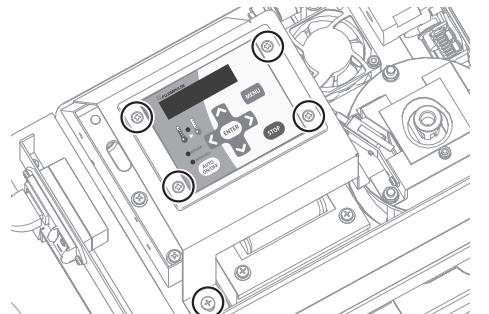
【必 要 物】 プラスドライバー、ボールペン等の先の細いもの

【交換の目安】 ERROR 9001 Battery error が表示された時

【使用ボタン電池】 CR2032

- 1 本体カバーを取り外します。(「11-1 部品交換のための準備」(→ P.37) 参照)
- 2 プラスドライバーで図に示すコントローラーと操作部のビス 5 本を外してください。
- 3 操作部を開いてください。
- 4 コントローラーに接続されているコネクタを外し、コントローラーを取り外してください。
- 5 コントローラーカバーの左右のツメを押しながら、カバーを取り外してください。
- 6 電池とノッチの間にボールペン等の先の細いものを差し込み、差し込んだものを垂直に起こしてください。起こすと電池が浮き上がってきます。
- 7 新しい電池をノッチ側からソケットに取り付けてください。
- 8 コントローラーカバーをもとに戻し、コネクタを接続してください。
- 9 コントローラーと操作部をビスで固定してください。
- 10 製品の電源を入れ、「8-2-2 日付・時間設定(MENU7)」(→ P.19) を参照して日付と時間を設定してください。
電源を入れたときに、ERROR 9000 が表示された場合は、**ENTER**キーを押すとエラー表示を解除することができます。

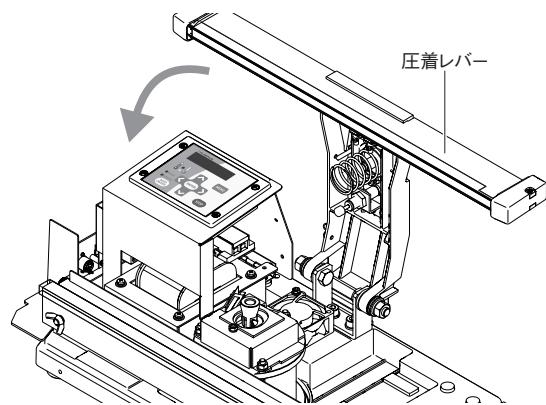
※使用済みの電池は、市区町村の指示に従つて処分してください。



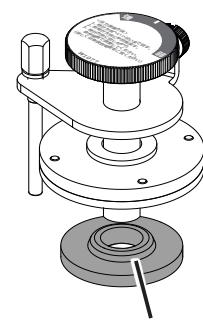
11-11 部品交換が終了したら

部品の交換が終了したら、本体カバーと圧着レバーを元に戻してください。

- 1 圧着レバーを元の位置に戻してください。



- 2 右イラストを参照しながら圧力調整部の部品を元に戻してください。



- 3 「9-1 シール圧力調整」(→ P.34) を参考し圧力調整を行ってください。

- 4 本体カバーは、「11-1 部品交換のための準備」(→ P.37) で緩めたビスと本体の間に差し込み、固定してください。

